

学校だより アンケート特集号

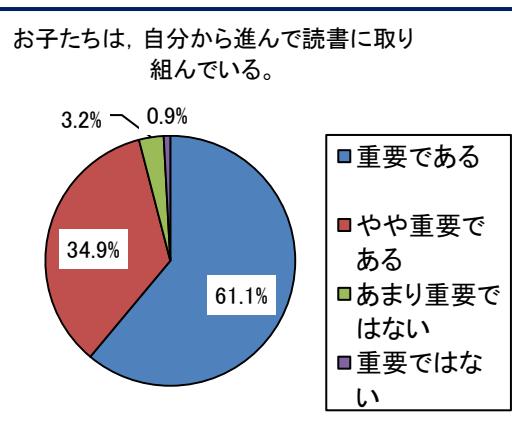
令和2年12月
京都市立桂東小学校
校長 志村 光司

前期に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果が出ましたので、お知らせいたします。
児童に対するアンケートは発達段階を考え、実現度のみを回答していますが、今回も保護者の皆様には、重要度と実現度の2つについて段階をつけてお答えいただいている。
これにより『大切であるのに、実現できていないこと』を浮かび上がらせ、改善の指針とさせていただきたいと存じます。

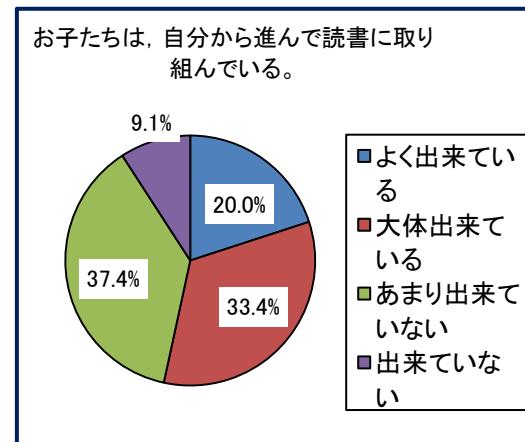
大切なに出来ていないこと

以下のグラフは、保護者の皆様が重要であると考えていること[重要度]とお子たち姿をご覧になって実現できているか[実現度]を表しています。ここでは、子どもたちの生活の基盤となる3つの項目「読書」「あいさつ」「時間」「早寝・早起き・朝ご飯」について考察します。

【重要度】

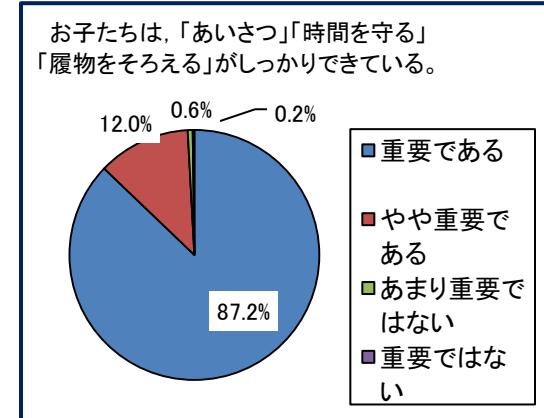


【実現度】

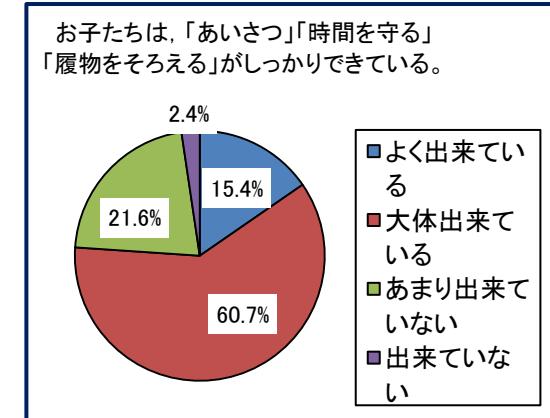


学校では、朝読書や読書週間の取組を中心に本に慣れ親しむ活動を行っていますが、まだまだ読書習慣が身に付いていないことが分かりました。テレビやスマホ、ゲームなど作られた映像よりも、本を読むことで文章からイメージすることで想像力が育つと言われています。本校では、子どもたちができるだけ本に親しめる環境作りを大切にしています。毎年、新しい本の購入を行ったり、図書委員会による読み聞かせを行ったりして読書をする習慣が身に付くように取り組んでいます。

【重要度】



【実現度】

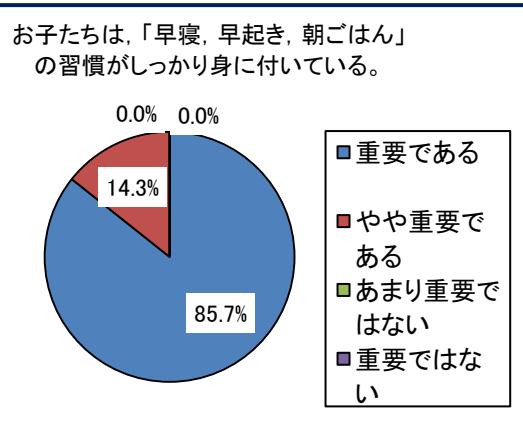


「あいさつ」は、個人差が大きく朝の登校時に自分からあいさつができる児童もいれば、声を出さずにお辞儀だけの児童もいます。マスクの中で口を動かしてはいるのかもしれません、声が聞こえてこない児童も少なくありません。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考え、児童会でのあいさつ運動などの取組も延期していますが、児童会や教職員間で取組を計画し、活動することで進んであいさつができるようにしていきたいと思います。また、「教職員の姿は子どもの鏡」であり、「教職員は、子どもの重要な教育環境」ですので、大人が子どもにお手本を見せることで「あいさつができる子」になると考えています。

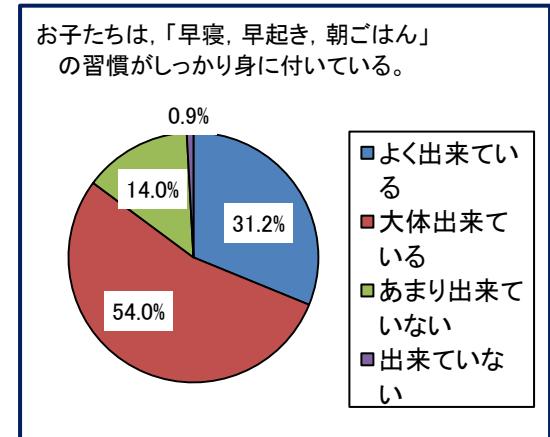
「時間を守る」については、休み時間に時計を見て行動し、チャイムが鳴らなくても次の学習の準備ができる児童が増えてきました。中間休みや昼休みに高学年が下級生に声をかけたり、5分前行動する姿を見せてくれたりしています。今後も高学年の児童がお手本となり、模範となっている自覚と規範意識を高め、低学年や中学年児童に良さを広げていければと思います。

「履物をそろえる」においては、できている時やできていない時がある状態です。トイレのスリッパを使った後は、次の人が履きやすいようにそろえるよう学級指導を行ったり、スリッパがそろっていなければ児童や教職員で整えたりして、健全な環境をみんなで保っていきたいと思います。

【重要度】



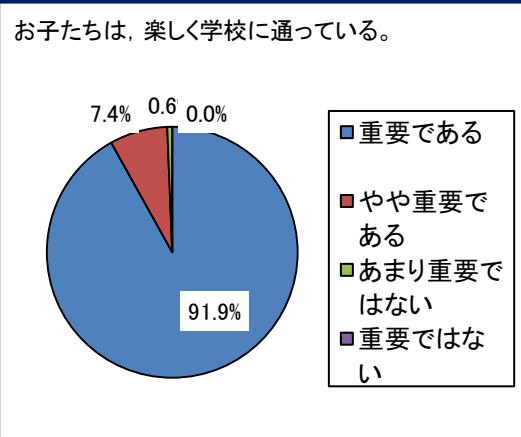
【実現度】



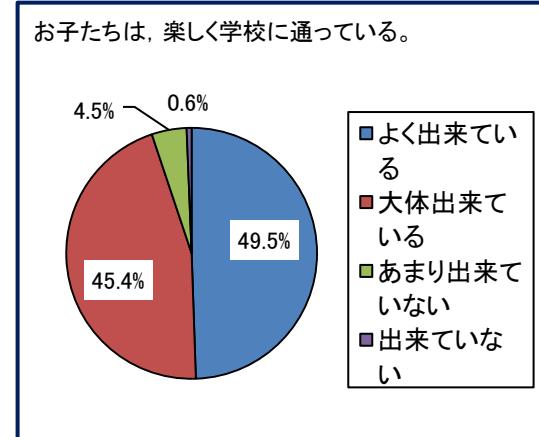
「お子たちは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣がしっかりと身についているか」については、「よくできている」「まあまあできている」を合わせると85%ぐらいはできていると回答がありました。さらに「できる」を増やしていくためには、十分な睡眠をとることの大切さを理解する必要があります。子どもの成長と健康には睡眠が必要です。睡眠時間は心と体の充電時間です。なるべく10時までに寝て毎日同じ時間に起きて太陽の光を浴びると頭のスイッチが入ると言われています。（できるだけ7時までに起きるようになります）今後も保健の学習を行ったり、保健便りやホームページなどで健康について大切なことをお知らせしたりしていきます。ご家庭でも子どもたちの生活を見ていたとき、健康的な生活リズムがとれるようご協力をお願いします。

よく出来ていること

【重要度】



【実現度】



児童アンケートでは、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせると、全体で95%ぐらいとなっています。どの学年においても高い数字となっていることは私たち教職員にとっては大変嬉しいことです。学校が楽しいか楽しいかは、「学習の理解」や「友だち関係」とも深く関わってきます。「学習の理解」においては、きめ細やかな学習指導を続け、分かる授業を目指して授業改善に努めています。また、子どもの自主性や主体性、積極性を引き出すために子どもたちが興味をもてるような授業づくりを進めると共に、「認めて」「褒めて」子どものやる気を引き出しています。「友だち関係」においては、良好な友だち関係を築いていくかどうかがこの項目に影響しています。今回の結果からは、学級で友だちと良好な関係を築くことが概ねできていると思われます。さらに実現度を上げていくために、授業の中で仲間と関わり、考えをつないだり意見交流を通して広げたり深めたりできるような活動を取り入れます。また、「自分が打ち込める」と見つけることができれば、それに向けてモチベーションを高めていくことが可能であると考えます。子どもたちの意見や教職員間でコミュニケーションを図りながら、今何ができるかを考えたり、子どもたちに興味を幅を広げたりすることで子どもたちを育てています。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。様々な課題や今後も伸ばしていく桂東の魅力などを知るうえで、大きな指針となりました。また、アンケートの裏面の自由記入欄に記入いただいた事項に関しては、教職員及び学校運営協議会理事の方とも協議して、今後の学校運営に反映させていきたいと思っております。改善された点については、保護者の皆様におわかりいただけるよう、工夫していきたいと思います。

自由記述欄に関しましては、

保護者の皆様の記述の中から関連するものを抜粋しました。

○コロナ禍中のスタートで休校期間も長かったので、親的には心配しておりましたが、毎日楽しく過ごせている様子で先生の授業も楽しく受け入れている様子に安心しています。コロナ対策をしながら様々な配慮が要る中で過ごし、先生方のご尽力に感謝しております。有難うございます。

○先生方にもよく見て頂きありがとうございます。小学校生活最後の一年、楽しみにしていたことが自分達の全力の及ばないところでなくなってしまい、そんな中子どもたちは明るく元気に頑張っています。この一年間で「これを頑張った」と自分のやりたいことを見つけ、やりきって卒業できますように。親としてどんな応援ができるのか・・・。子どもの目の輝きがずっと続く一年でありますように。

○朝読書の習慣化はとてもありがとうございます。集中力がついたり、更なる興味を引き出したりいいことばかり。これからも続けて頂きたいなあと感じています。

○授業中、分からぬところを「分からない」と言えていないようです。「恥ずかしいから」と理由を言っています。放課後の学習では、聞きやすかったようなので今後も継続をお願いしたいです。

○学校に楽しく通えて何よりです。コロナがあり、友達や先生と過ごせるありがたみが親子共によく分かりました。

○コロナで大変な中、本当にありがとうございます。学年が上がるにつれ心配することも増えていますが、楽しく学校へ通えています。

○食事・睡眠など生活の基礎となる部分に課題があると感じていますので、家族で相談しながら改善していけたらと思います。

○コロナ禍での学校生活、心配ではありますが、対策をしっかりとつけていたたいて、以前のように子どもも毎日楽しく通うことができております。ありがとうございます。

○学校では、子どもの個性を尊重して安心安全に通わせていただいていると思います。いつもありがとうございます。

○小学校生活ラストの年なのに、コロナ禍の影響で、色々中止になり、やはり残念な気持ちがあります。せめて部活動が再開されると嬉しいです。もちろん子ども達の安全面に配慮しながら、学校生活をご指導くださっている先生方には感謝しております。いつも有難うございます。

○「一生懸命がかつこいい」勉強も運動もバランスよく頑張れる桂東の伝統をずっと受け継いでいって欲しいと思っています。何にでも一生懸命頑張れる子は強い。その基礎が小学校生活にあると思います。今後共よろしくお願いします。